

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年3月7日(2024.3.7)

【公開番号】特開2022-157348(P2022-157348A)

【公開日】令和4年10月14日(2022.10.14)

【年通号数】公開公報(特許)2022-189

【出願番号】特願2021-61515(P2021-61515)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/103(2006.01)

10

A 6 1 B 3/135(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/103

A 6 1 B 3/135

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月27日(2024.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼の眼屈折力を取得するための眼屈折力測定光学系と、

前記被検眼の前眼部に向けて測定光を投光し、前記測定光の投光光軸に対して、前記測定光の戻り光を斜め方向から検出することで、前記被検眼の前眼部断面画像を取得するための断面画像撮影光学系と、

前記前眼部断面画像を解析し、前記前眼部の形状に関する形状情報であって、複数のパラメータを含む形状情報を取得する形状情報取得手段と、

前記眼屈折力測定光学系と、前記断面画像撮影光学系と、を制御し、前記眼屈折力と前記複数のパラメータとに基づいて、前記被検眼の眼軸長を取得する眼軸長取得手段と、を備え、

前記眼軸長取得手段は、前記複数のパラメータの測定値を使用して導出される第1眼軸長と、前記複数のパラメータの一部の測定値を置き換えた仮定値を使用して導出される第2眼軸長と、を取得することを特徴とする眼科装置。

【請求項2】

請求項1の眼科装置において、

前記複数のパラメータの少なくとも1つの良否を判定する判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて、前記第1眼軸長と前記第2眼軸長の少なくともいずれかの導出を選択する選択手段と、

を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項3】

請求項1又は2の眼科装置において、

前記判定手段は、前記複数のパラメータの信頼性を評価するための評価情報に基づいて、前記複数のパラメータの良否を判定することを特徴とする眼科装置。

【請求項4】

請求項2又は3のいずれかの眼科装置において、

前記眼軸長取得手段は、複数の前記前眼部断面画像を取得し、

前記判定手段は、前記前眼部断面画像毎に、対応する複数のパラメータの良否を判定し、

50

前記選択手段は、前記複数の前眼部断面画像に対応する前記複数のパラメータの良否に基づいて、前記第1眼軸長と前記第2眼軸長の導出を選択することを特徴とする眼科装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかの眼科装置において、

前記眼軸長取得手段は、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記断面画像撮影光学系における前記測定光の光量を調整し、

前記形状情報取得手段は、前記眼軸長取得手段による前記光量の調整後に取得された前眼部断面画像を解析し、調整後の複数のパラメータを取得し、

前記判定手段は、前記調整後の複数のパラメータの良否を判定することを特徴とする眼科装置。

10

20

30

40

50